

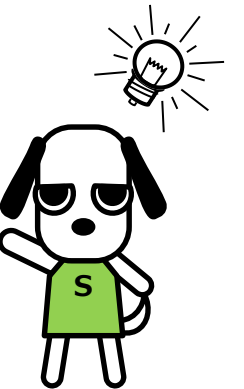
せたがや自治政策研究所

令和4年度事業計画

令和4年4月

せたがや自治政策研究所

<https://www.city.setagaya.lg.jp/mokuji/kusei/002/006/index.html>



せたがや自治政策研究所マスコット
「せたけん」

基本計画策定に関連した取組み

1. 将来人口推計及び分析

- ・自治体経営の将来を展望するための基礎的なデータとして将来人口推計を実施。
- ・あわせて人口動向と関連性の高い、区の税収と住宅・土地利用などを分析する。

2. EBPM推進による政策形成力の向上

- ・「せたがや版データアカデミー」等の実施によりEBPMマインド浸透と組織の枠を超えた議論を行う。若手職員を中心にボトムアップ型で基本計画策定の全庁的な機運醸成を図る。

3. 地域コミュニティ・地域行政の調査研究

- ・自治体と区民生活の今後を検討するための素材として、コロナ禍による変容を踏まえつつ、地域の現状を調査・分析。あわせてデータベースを整備する。

A. 自治体経営のあり方に関する研究

| プロジェクトA-1 | 地域コミュニティの実態に関する調査研究 | 令和4年度 |
|-----------|---|---|
| | <p>①地域生活とコミュニティに関する調査</p> <ul style="list-style-type: none">令和3年度に実施した「地域生活とコミュニティに関する調査」の調査結果に基づき、地域行政の推進およびコミュニティ関連の施策へ資する知見を得ることを目的として、分析を行う。 <p>②小さなまちの拠点に関する調査</p> <ul style="list-style-type: none">令和3年度に作成した区内にある地域の居場所となる小さなまちの拠点のデータベースについて、メンテナンスや情報の拡充に取組み、区の多様なコミュニティ資源を捉えるための基礎資料とする。 | <ul style="list-style-type: none">調査研究分析結果公表 |
| プロジェクトA-2 | 地域行政に関する調査研究 | 令和4年度 |
| | <ul style="list-style-type: none">地域行政条例制定後の地域行政にかかる施策展開に資するため、継続的な情報収集・分析に取り組む。小さなまちの拠点やプラットフォームなどの都市コミュニティの新たな仕組みづくりを視野に入れた研究を行う。地域内分権に関する他自治体の取組み・事例などをデータベース化する。令和3年度に作成した中核市のデータベースについて、メンテナンスや情報の拡充に取り組む。 | <ul style="list-style-type: none">調査研究データベース整備 |

B. 世田谷区地域行政史調査研究

| プロジェクトB-1 | 地域行政史とアーカイブスの整備 | 令和4年度 |
|-----------|---|--|
| | <ul style="list-style-type: none">• 昭和50年代からスタートした世田谷区の地域行政を調査研究し、そのあゆみを整理する。• 地域行政に関わる保存文書・資料等の利活用を目的として、収集と整理を行い、アーカイブスを整備する。• 過去に地域行政にかかわった職員等にヒアリングを実施し、オーラルヒストリーとして記録する。• 報告書作成に着手する。 | <ul style="list-style-type: none">• アーカイブス構築• オーラルヒストリー調査• 報告書作成 |

C. データの整備と活用

| | | |
|-----------|---|--|
| プロジェクトC-1 | 政策形成力の向上とデータ活用の推進 | 令和4年度 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 次期基本計画の検討に向けた論点整理に資するため、庁内におけるEBPMの推進とデータ活用のあり方を研究する。 | <ul style="list-style-type: none"> 継続実施 |
| プロジェクトC-2 | せたがや版データアカデミーの開催 | 令和4年度 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 庁内における政策形成力向上とデータ活用推進を図るための人材育成を目的に、講義・ゼミ形式の「せたがや版データアカデミー」を実施する。 参加者は、ロジックモデルの作り方やデータによる根拠付けなど、「データを利活用した政策形成の手法」について体系的に理解し体得するとともに、データアカデミー等の内部講師や所属内でのEBPM等に関するインフルエンサーとしての役割を果たせるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> 定期的な開催 内部講師によるアカデミー等の実施 フォローアップ体制の構築 |
| プロジェクトC-3 | 次期基本計画に向けた将来人口推計 | 令和4年度 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 次期基本計画策定に向けた基礎データとして、将来人口推計を行う。 推計手法の改善について研究を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> 新たな推計の実施 |

D. 連携研究事業

| | | |
|-----------|---|---|
| プロジェクトD-1 | 個別政策支援研究 | 令和4年度 |
| | <ul style="list-style-type: none">「農業振興・都市農地保全研究会」の研究支援を行う（令和2年度から継続実施）。 | <ul style="list-style-type: none">継続実施 |
| プロジェクトD-2 | 特別区長会調査研究機構の研究会参加 | 令和4年度 |
| | <ul style="list-style-type: none">区長会調査研究機構の研究会に参加する。令和4年度のテーマ：<ul style="list-style-type: none">①「タワーマンション等大規模集合住宅を含む地域コミュニティの醸成」②「特別区におけるDXの推進～データの取得・分析・活用に向けて～」 | <ul style="list-style-type: none">研究会参加 |
| プロジェクトD-3 | 教育総合センターにおける教育委員会との連携 | 令和4年度 |
| | <ul style="list-style-type: none">教育におけるDX推進や地域との連携の取組みを踏まえ、教育総合センターにおける共同研究等のあり方を検討する。研究所のデータ利活用の人材育成プログラム、コミュニティに関する研究成果とデータベースの提供等を通して教員のスキルアップを支援する。 | <ul style="list-style-type: none">実施 |

E. 人材育成と情報発信

| プロジェクトE-1 | 人材育成プロジェクト会議の運営 | 令和4年度 |
|-----------|---|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ 庁内の人材育成の観点から、研究所主催の事業、情報発信、連携事業などについて、効果的に実施するための評価・検討を行う。 ・ 所長・次長・主任研究員・特別研究員及びテーマに応じて政策研究員を構成員とし、定期的を開催する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 継続実施 |
| プロジェクトE-2 | 庁内オープンゼミ等の開催 | 令和4年度 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ 庁内のコミュニケーションやネットワークづくりを含めた人材育成を目的とし、庁内職員を対象に、所長や学識経験者等を講師とした講演・講義・ゼミ・ワークショップ等を実施する。 ・ 動画配信やビデオ会議等を利用したリモート開催の手法も検討・実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 継続実施 |
| プロジェクトE-3 | 情報発信 | 令和4年度 |
| | <ol style="list-style-type: none"> ①学術機関誌「都市社会研究」の編集・発行 政策課題にかかわる特集を組むほか、都市政策研究および自治体の政策に関する研究の発表の場として論文等の公募を行う。（年1回発行。） ②研究活動報告書「せたがや自治政策」の編集・発行 各年度の成果である研究報告書等を発表する。（年1回発行） ③「Newsletter（ニュースレター）」の編集・発行 職員向けに、研究を通じて得られた知見・データ分析結果や区政に関するトピックス等を紹介する。 ④その他 庁内に保有図書データベースを公開し、職員を対象に書籍・資料の貸出対応を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 継続実施 |
| プロジェクトE-4 | 研究員による独自の研究活動 | 令和4年度 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究所職員が自身の発案により独自テーマの調査研究を行う。研究成果は「せたがや自治政策」や「Newsletter（ニュースレター）」で発表する。 ・ 調査研究能力向上のため、必要に応じて研修受講や学会等へ参加する。 | |